

<教育状況報告> 「1年間の教育を振り返って」 副学校長兼教務課長 佐藤 とも子
4月3日の入学式から早1年が過ぎようとしています。新入生は例年同様、入学直後の宿泊セミナー、専門用語が飛び交う授業、夏休み前にコミュニケーションをとる初めての実習と続きました。前半は学校生活に慣れることで一杯だったのではないかと思います。後半は相手の気持ちを理解しながら安全に、不安を与えないよう看護を実践することの難しさ、その中でも達成感や看護の楽しさを其々感じていると思います。2年生は疾患やそれに伴う看護の専門性を学び3年次の臨地実習のベースになる学習の時期です。実習の時期に重なった時もありましたが、学校祭、看護の日やスポーツ交流会などの行事を中心にまとめていたと思います。3年生は2年次の学習を振り返り、実習での体験で看護を深め、寝不足になりながら連続実習を頑張っていました。

そのような学生に対して、より良い看護師になってほしいという思いから、時には厳しく、時にはやさしく教員は関わっていたかと思います。看護に対する社会の期待はより高まってきている時代、学生が学ぶべき内容は増えています。課題は多くありますが、看護の楽しさ、充実感を持てる学生が育てられるような授業、実習、行事等での関わりが出来るようにしたいと気持ちを新たにしているこの頃です。

~~ 祝卒業~~ 卒業生のことば

クラス委員長 江島 穂香

3年間の学校生活がもう少して終わると考えると、とても感慨深い思いです。最初は、勉強の仕方もわからず、臨地実習では日々自分自身と向き合うことの連続で、今までの人生で経験したことがないほど、苦しく大変でした。何度もくじけそうになり、どうして先輩たちは3年間乗り越えられたのか、といつも不思議に思っていました。

しかし、色々な事がありましたが、なんとかこうして自分も卒業することができ、大きな自信になりました。この3年間を乗り越えられたのは、支えてくれた家族、クラスみんな、見守ってくださった先生方のおかげだと思います。特に、寮のみんなにはたくさん支えてもらいました。3年間、本当に有り難うございました。

クラス副委員長 南山 斗志世

私の3年間は上手くいかないことの積み重ねだと思います。始めは上手くいかない自分を受け入れることは本当に辛かったです。しかし、受け入れることでどうすれば上手くいくのかについて考え、行動やものの見方を変えることができました。

一般的にこの過程を努力とか成長というのだと思います。今まで努力や成長と口にすることはありましたが、その実態をよく理解していませんでした。しかし、この3年間でそれを明らかにできたと思います。このことは看護師としてだけでなく、この後の人生に非常に重要になると思います。看護だけでなく様々なことを学ぶことができたこの3年間は私にとってかけがえのない貴重な時間です。

- ・・・ **SCHEDULE** ・・・ 3 / 6 ~ 4 / 7の行事・動向（含終了）
- 3 / 6（木）2年生成人看護学 実習終了
 - 3 / 7（金）平成 25 年度第 18 期生卒業式 謝恩会
 - 3 / 12（水）特別講義「看護学生のたばこ対策」
 - 3 / 14（金）2年生解剖見学（旭川医科大学）
 - 3 / 17（月）1年生「デートDV」（人権擁護委員来訪講義）
 - 3 / 19（水）春期休業（～4 / 1）
 - 3 / 25（火）第 103 回看護師国家試験合格発表
 - 4 / 7（月）平成 26 年度第 21 期生入学式

耳よりヘルシー HEALTHY トピックス

「インフルエンザ」「新型インフルエンザ」の知識と予防

インフルエンザは日本では例年 12～3 月頃に流行する。病原体のウイルスは A、B、C 型に大きく分類され、現在国内では A / H 1 N 1 亜型と A / H 3 N 2 亜型（所謂香港型）B 型が流行している。A 型はその抗原が小さく変化しながら毎年ヒトの間で流行し、これを季節性インフルエンザと呼ぶ。時に抗原性が大きく異なるものが現れ、免疫を獲得していない多くのヒトに急速に蔓延し、健康と生命はおろか社会機能や経済体制にも甚大な影響を及ぼす可能性のあるものを「新型インフルエンザ」と呼ぶ。次の新型の出現は誰にも予測できない。予防策として、ワクチン接種、咳エチケット、外出後の手洗い、湿度（50～60%）保持、十分な栄養補給、人混みを避ける等が挙げられる。＜厚生労働省「インフルエンザ Q&A」より抜粋＞

+++ あ・ん・て・な ANTENNA +++

第 103 回看護師国家試験終了・・・合格者発表～3 / 25（火）・・・

看護師への最終関門である国家試験が 2 / 16（日）に札幌市で行われ、本校卒業予定者 37 名全員が受験しました。ここまでの厳しい試練を克服して最大目標の試験に立ち向かい、やり遂げた皆さんに心から讃辞を送ります。全員がベストを尽くし力を出し切ったとのこと。必ずや良い結果が生まれるものと確信しています。祈「全員合格」！！

ささやき S & T ・・・ 学生の、教員の、みんなの声

- S**：2年生の成人看護学実習 が終わり、各々大きな学びを得られたことと思います。学習はもちろん日常生活において人との関わりがとても大切だと感じる日々です。
（2年 T・I） **S**：気がつけばもう3月です。ついこの間まで授業や実習、行事の何もかもが初めてで、おどおどしていたような気がします。この1年間は大変なことがたくさんありましたが、その分成長できたこともあります。4月から2年生になって新たな目標に向かって頑張りたいです。（1年 M・A）
- T**：3年生は、3年間の集大成である国試を終了し、あとは卒業式を残すばかりとなりました。其々の学年が『各々の春』に向かい、夢と希望の実現を目指して、頑張っています。（教員 佐々木 政美）